

- 問1 日本の中央銀行である日本銀行は、日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行できる役割を持っています。この機能を何と呼びますか。（2020年 島根県公立入試 類似）
1. 管理銀行
 2. 銀行の銀行
 3. 発券銀行
 4. 政府の銀行
- 問2 企業が「直接金融」によって資金を調達しようとする際、投資家に対して発行されるものの組み合わせとして適切なものはどれか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
1. 手形と小切手
 2. 税金と補助金
 3. 株式と債券
 4. 預金と貯金
- 問3 不景気の際、日本銀行が市場に出回るお金の量を増やし、景気の回復を促すために行う操作の仕組みとして、正しいものはどれかを選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで、銀行が企業などへ貸し出せる資金を増やす。
 2. 政府が増税を実施して消費を抑えることで、過度な物価上昇を鎮め、家計の負担を軽減する。
 3. 政府が公共事業への支出を増やすことで、民間の建設会社などの売上を増やし、市場全体の通貨量を増やす。
 4. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、代金を回収することで、銀行が企業などへ貸し出せる資金を減らす。
- 問4 現代の経済活動において、貨幣が果たしている基本的な機能について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 円高や円安といった為替相場の変動を、常に一定の範囲に抑える機能。
 2. 商品やサービスの価値を価格として表し、交換の仲立ちをする機能。
 3. 民間の銀行が景気の状態に応じて、独自の判断で紙幣を発行する機能。
 4. クレジットカードのように、実際の支払いを将来に先送りする機能。
- 問5 資金を必要とする企業などの借り手が、株式や社債を発行し、銀行などの金融機関を通さずに、家計などの貸し手から直接資金を調達する仕組みを何といいますか。（2021年 高知県公立入試 類似）
1. 公定歩合
 2. 消費者金融
 3. 直接金融
 4. 間接金融
- 問6 日本銀行が景気を調整するために行う「公開市場操作」のうち、不況のときに世の中の資金量を増やす目的で行われる「買いオペレーション」の内容として適切なものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本銀行が各銀行に貸し出す際の利子率を引き下げることで、企業への融資を活発にする。
 2. 日本銀行が各銀行に預けさせる準備金の割合を引き下げることで、銀行が企業へ貸し出せる資金を増やす。
 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売却し、その代金を受け取ることで市場に流通する通貨の量を減らす。
 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、その代金を支払うことで市場に流通する通貨の量を増やす。
- 問7 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 国の中央銀行として、紙幣を独占的に発行するから。
 2. 全国の民間銀行の経営方針や役員人事を直接指示するから。
 3. 一般の個人や企業に対して資金の貸し付けや口座開設を行うから。
 4. 民間金融機関に対して預金の受け入れや資金の貸し付けを行うから。
- 問8 昭和時代初期の歴史において、多くの銀行で預金の払い戻しができなくなり、経済が混乱した「金融恐慌」が発生しました。こうした事態において、金融システムの安定を図るために、一般の銀行に対して資金を供給し、連鎖的な倒産を防ぐ役割を担う機関を選びなさい。（2017年 静岡県公立入試 類似）
1. 公正取引委員会
 2. 日本政策金融公庫
 3. 財務省
 4. 日本銀行
- 問9 保険会社が提供するサービスには、大きく分けて人間の生死や病気に関わるものと、偶発の事故による財産の損失に関わるものの2種類があります。このうち、建物の火災や自動車事故による損害を補償する保険の名称として適切なものを選びなさい。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 損害保険
 2. 生命保険
 3. 社会保険
 4. 雇用保険
- 問10 景気変動のサイクルにおいて、生産や消費の活動が非常に活発で、景気の山の頂点付近にある好況期に、日本銀行が景気の過熱を抑えるために行う適切な金融政策はどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）
1. 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場を流通する通貨量を減らす。
 2. 市中銀行が保有する国債を買い入れ、市場を流通する通貨量を増やす。
 3. 市中銀行が保有する国債を買い入れ、市場を流通する通貨量を減らす。
 4. 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場を流通する通貨量を増やす。
- 問11 1980年代後半から日本で発生したバブル経済の特徴について、その背景と内容を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 長引く不況により物価が継続的に下落し、企業の倒産や失業者の増加が社会問題となった。
 2. 石油の供給不足により物価が激しく上昇し、戦後初めて実質経済成長率がマイナスになった。
 3. 重化学工業の発展を背景に、10年以上にわたって年平均10%前後の高い経済成長を維持した。
 4. 投機目的の資金が流入したことで、土地や株式の価格が経済の実態を超えて急騰した。
- 問12 物価が上がり続けるインフレーションを抑制するために日本銀行が行う金融政策について、その仕組みと目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 日本銀行が民間銀行に国債を売却することで市場の通貨量を減らし、金利を上昇させて景気の過熱を抑える。
 2. 日本銀行が直接、企業の株や債券を売却することで通貨の価値を高め、輸入品の価格を下げる。
 3. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やし、金利を低下させて消費を刺激する。
 4. 日本銀行が預金準備率を引き下げることで、民間銀行が企業へ貸し出せる資金を増やし、物価を安定させる。
- 問13 日本の家計や経済において、外国為替相場が「円安」に振れた際に生じる社会的な影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
1. 日本を訪れる外国人観光客にとって日本での滞在費が割高に感じられ、観光需要が減少する
 2. 円の価値が高まるため、海外投資を行っている投資家が日本円に資産を戻しやすくなる
 3. 海外製品が安く手に入るようになるため、国内の消費者の購買意欲が高まる
 4. 輸入に頼っている原油や小麦などの輸入価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる